

## 沖縄・辺野古の新基地建設のための工事を直ちに中止するよう求める要請書

内閣総理大臣 安倍 晋三 様  
防衛大臣 中谷 元 様

安倍政権が、1月11日以来、ボーリング調査（埋め立て工事）再開のために、埋め立てに反対をする人たちが手薄になった深夜や早朝に反対をする市民を、多数の機動隊を導入して暴力的に排除し、工事のための重機や資材の搬入を強行したことに強く抗議します。

この工事の強行の過程で、座り込みという非暴力で抗議活動をする人を逮捕し、抗議をする80代の女性が倒され、頭部を強打し救急搬送されるという事態にまで至りました。また、海上でも海上保安庁による妨害や暴力行為が横行し、人命に関わるような事態も起こっています。このような工事の強硬は、沖縄の民意に反するものであり断じて許される行為ではありません。現在も続くこのような弾圧を直ちに中止するように強く求めます。

沖縄の意思は「辺野古の新基地建設反対」です。昨年の名護市長選では基地建設反対の稲嶺市長が再選され、名護市議会選挙でも反対派の市議が過半数を占めました。また、県知事選でも翁長知事が当選し、衆議院選挙でも沖縄選挙区は全員基地建設反対派が占めました。世論調査でも80%の人が反対の意思を示しています。圧倒的な沖縄の声を無視して工事を再開することは、民意に背き、民主主義を破壊する行為です。

安倍政権は、「危険な普天間基地の一日も早い返還こそが地元の願い」であり、そのための新基地建設が「負担軽減」につながると言っていますが、全くの欺瞞と言わざるを得ません。辺野古に建設予定の新基地は、1800メートル級の2本のV字形滑走路や弾薬搭載区域、強襲揚陸艦が接岸可能な軍港も建設されます。垂直離着陸機オスプレイが配備され、最新鋭のF35ステルス戦闘機が運用される危険もあります。沖縄本島北部の広大な訓練場などと一体化し、米海兵隊の新たな一大出撃拠点となります。辺野古の新基地は基地機能の強化であり、負担のさらなる押しつけと言わざるを得ません。

安倍政権は、県知事選後も「辺野古移設が唯一の解決」とその姿勢を変更していません。辺野古の基地建設のために1500億円もの予算を付ける一方で、翁長知事の面会を拒否し、沖縄振興予算は減額するなど露骨に嫌がらせ、圧力をかけています。このよう差別的な行為は許されるものではありません。

新基地建設が予定をされている、辺野古沖や大浦湾は、天然記念物に指定されている希少なジュゴンが住み、世界的にも貴重なサンゴの生息地でもあります。なにより、沖縄の人たちの命を育ててきた自然豊かな海です。命を育む豊饒の海に、人殺しのための基地を作ることには私たちは断固として反対します。

戦争のための新基地建設は、アジアの周辺諸国との緊張を高めます。私たちは、沖縄の新基地建設に反対をする人々とともに、政府が辺野古の新基地建設を断念するまで行動を続けます。

以上のことを踏まえ、以下のことを強く要請します。

1. 辺野古新基地建設の反対行動をする正当な抗議行動に対する弾圧をやめること。
2. 基地建設のための工事を中止すること。
3. 辺野古の新基地建設を断念すること。
4. 普天間基地の返還を無条件に進めること。

2015年1月23日

あいち沖縄会議  
命どっ宝あいち 不戦へのネットワーク 東海民衆センター  
名古屋YWCA 日本聖公会中部教区沖縄プロジェクト  
JUCON(基地から沖縄の自然を守りたい日米市民のネットワーク)

※1月23日、東海防衛支局に提出しました。